

あいさつ

大阪市中学校教育研究会
特別支援教育部長 柿花 正信

昨年1月16日、日本国内で初の新型コロナウイルス感染症の感染者が確認されて1年以上が経ちました。その時には想像もしなかった状況が続いております。生徒たちもさまざまな制限のもと、窮屈な学校生活を送っています。本当に大変な1年になりましたし、今後の日常もまだその大変さは続くものと思われます。

そんなコロナ禍にあって、機関誌「特別支援教育」第63号の発刊にあたり、貴重な実践や研究成果をお寄せいただきました諸先生方ならびにご尽力賜りました「特別支援教育」編集委員の先生方に心より感謝申し上げます。

さて、大阪市中学校教育研究会特別支援教育部では、「共に学び、共に育ち、共に生きる」共生社会をめざすインクルーシブ教育システム構築にむけて、日々実践してまいりました。全市規模の交流行事に携わるとともに、生徒一人一人の自立と社会参画を見据え、教育的ニーズに的確に応えるための専門性の向上や教育環境の整備等、本教育の更なる発展のため取り組みを進めてきました。

しかしながら、今年度に関しては新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、伝統的・全市的行事である「合同うんどう会」・「ふれあいスティ」・「ふれあいデイキャンプ」・「作品展」なども相次ぐ中止を余儀なくされることとなりました。全市研究発表会は、何とか規模を縮小しながらも開催することができましたが、「インクルーシブ・フレッシュ研修会」も中止や延期をせざるを得ない状況が続きました。

実践できなかったことが多い1年でしたが、様々な行事等の企画、準備、開催等にご支援ご協力をいただきました担任者会の先生方、大阪市教育委員会、小学校教育研究会、旧大阪市立特別支援学校をはじめ関係諸団体や多くの皆さまに深く感謝申し上げます。「No rain, no rainbow」（雨無くして虹無し）と言います。このコロナ禍の経験が、今後の大阪市の特別支援教育の益々の、そして新たな発展・充実につながっていくことを祈念してあいさつとさせていただきます。

令和2年度に特別支援教育部・担任者会が取り組んだ主な行事は次のとおりです。

- ① 第63回大阪市中学校特別支援学級・支援学校中等部 合同うんどう会
令和2年5月28日（火）〈コロナの為中止〉（於：ヤンマーフィールド長居）
- ② 特別支援教育部担任者会全体会
令和2年7月1日（水）人数制限し開催（於：大阪市教育センター）
- ② 第57回全特連近畿ブロック研究協議会 奈良市大会
令和2年8月7日（金）〈コロナの為中止〉（於：奈良県文化会館）
- ③ 第59回全特連全国大会 長崎大会
令和2年10月29日（木）、30日（金）〈コロナの為中止〉
（於：長崎ブリックホール）
- ⑤ 第63回大阪市特別支援学級 ふれあいステイ
令和2年11月4日（水）～6日（金）〈コロナの為中止〉
（於：信太山青少年野外活動センター）
- ⑥ 第9回大阪市中学校特別支援学級 ふれあいデイキャンプ
令和2年11月12日（木）、19日（木）、20日（金）〈コロナの為中止〉
（於：大阪市舞洲障がい者スポーツセンター（アミティ舞洲））
- ⑦ 大阪市中学校特別支援学級・支援学校 生徒作品展
（第58回ぼくたち・わたしたちのさくひん展）〈コロナの為中止〉
令和3年1月14日（木）～20日（水）（於：大阪市役所1階ロビー）
- ⑨ 第59回特別支援学級 卒業生を励ます会
令和3年2月28日（金）〈コロナウイルスの為中止〉
（於：天王寺区民センター）
- ⑩ 中学校教育研究会 全市一斉研究発表会及び年度末研究報告会
令和2年10月14日（水）〈人数制限し実施〉（於：クレオ大阪中央）
令和3年 3月 2日（火）〈コロナの為、文書による発表〉
（於：大阪市教育センター）

以上、主な行事をあげましたが、多くの行事・研修会が中止されてしまいました。行事を通して子どもたちは明るい笑顔を見せてくれます。子どもたちにとって、いろいろな行事に参加することは自己実現の場であり、他の学校の生徒と交わることで社会性を育み、「自立する力」「生きる力」「発達可能性」を追求する有意義な機会であります。来年度は行事が開催されることを願っています。

また、この機関誌「特別支援教育」の発刊にあたり、ご尽力いただきました「特別支援教育」編集委員の先生方に厚くお礼申し上げます。

「特別支援教育」第63号の発刊に寄せて

大阪市教育委員会
インクルーシブ教育推進担当
課長 平岡 昌樹

大阪市立中学校教育研究会特別支援教育部の活動と研究の成果をまとめられました「特別支援教育」第63号の発刊に際しまして、ごあいさつを申し上げます。

はじめに、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、様々な学校行事が延期または中止となりました。中学校教育研究会特別支援教育部におかれましては、中学校特別支援教育担任者会と連携し、開催されてきました「合同うんどう会」「ふれあいステイ」をはじめ数多くの行事が中止となり、これらの行事を楽しみにされていた生徒の皆さんにとりまして非常に残念な思いをされたことと存じます。しかし、そのような状況下においても、本市特別支援教育の充実・発展に向け、日々、生徒一人一人の自立に向けた実践の探求、並びに教育的ニーズに応じた指導方法等の工夫に取り組まれてこられたことに、深く敬意を表しますとともに、お礼を申し上げます。

今年度の大阪市立中学校教育研究会研究発表は、『子どもたち一人一人が、共に学びに向かい生きる力を育む教育をめざして』を研究主題に開催され、明星大学発達支援研究センター教授小野次朗先生にお越しいただき「中学校における特別支援教育の理解と支援～特性を障がいにならないために～」と題して、発達障がいとはどのようなものか、理解と支援がなぜ必要か、についてご講演いただきました。先生方には、改めて特別支援教育の根幹をなす指導・支援のあり方について認識していただけたことと存じます。各校におかれましては、生徒が学習意欲をもって主体的に取り組むことができるよう、個々の障がい特性に応じた合理的配慮に基づき、発達を促すための学習環境を整備するとともに、生徒一人一人の教育的ニーズに応じた指導・支援を一層工夫し、研究主題に示す教育の実践がさらに深化・充実することを期待しております。

さて、中学校では令和3年度から新学習指導要領が全面実施となります。特別支援学級で学ぶ生徒においても、「主体的・対話的で深い学び」ができるよう日々の授業改善をめざすことが肝要です。生徒の障がいの状態や特性、心身の発達段階等は様々ですが、すべての生徒が豊かな人生がおくれるよう、諸課題に対応できる資質や能力を育てていきましょう。

本市では従来より、障がいのある生徒と障がいのない生徒が「共に学び、共に育ち、共に生きる教育」を推進し、障がいのある生徒一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育を進めております。教育委員会としましては、今後も貴特別支援教育部ならびに担任者会と連携を図り、インクルーシブ教育システムの構築に向けた特別支援教育の一層の充実に取り組んでまいります。

終わりにになりましたが、貴特別支援教育部と貴担任者会のご発展、並びに関係の皆様の方々の益々のご活躍とコロナウイルスの一日も早い終息を祈念いたしましてごあいさついたします。

新型コロナウイルス感染症過での活動記録

～コロナに翻弄された１年間～

大阪市中学校特別支援教育担任者会

会 長 寺本 紀夫

2020 年（令和 2 年）は新型コロナウイルス（COVID-19）による世界的パンデミック発生之年として、世界史の教科書に載るであろう年となりました。

大阪市立中学校教育研究会特別支援教育部並びに大阪市中学校特別支援教育担任者会にとってもその活動のほとんどが中止を始め大きな影響を受けました。ここにその経緯等を記録として残します。

（令和元年度）第 58 回卒業生を励ます会：2/28 実施予定 **中止**

- ・主催の（公財）大阪特別支援教育振興会が解散のため、今回が最終回の予定だった。
- ・大阪市では 2 月 29 日（土）より全ての公立学校が一斉休校となる。その動きを受けて大阪特別支援教育振興会と協議の上、2 月 25 日に中止判断する。

第 63 回合同うんどう会：5/28 実施予定 **中止**

- ・一斉休校中ながら、4 月 1 日付で実施に向けて参加希望調査等を発送。
- ・前後して委員会より「校外活動の原則中止」の通達が出たため 4 月 2 日に中止判断する。

大阪市特別支援教育担任者会全体会：7/1 実施 **委任状開催**

- ・例年 5 月中旬に実施していたものを延期開催。
- ・原則委任状を提出することで参加に替える。58 校が委任状出席

大阪市立中学校教育研究会全市研究発表会：10/14 実施 **参加制限**

- ・この時期、会場定員 50%の使用制限が掛かっていたので、各校 4 名までの参加者制限を設定して実施、参加総数 317 名
- ・小野次朗先生（明星大学発達支援研究センター 教授）による講演研修
- ・演題：中学校における特別支援教育の理解と支援～特性を障がいにならないために～

第 63 回ふれあいステイ：11/4～6 実施予定 **中止**

第 9 回ふれあいデイキャンプ：11/12,19,20 実施予定 **中止**

- ・6 月 9 日に、実施する場合の配慮事項等の検討会議をふれあい行事主担者等中心メンバーが集まり開催する。
- ・その後、主催者の教育委員会と協議の結果「参加生徒の健康保持について十分な安全確保の見通しを立てるのが難しい」との結論により、6 月中旬に中止判断する。

第 58 回生徒作品展：1/14～20 実施予定 **中止**

- ・ 9 月から 10 月にかけてコロナ感染症が全国的に下火になり、実施する方向で準備を進める。参加希望調査を実施し、合同モニュメント作製の段取りも進める。
- ・ 11 月からコロナ感染症の第 3 波が広がり、大阪では「大阪モデル」レッドステージ（非常事態）発出。それを受けて 12 月 9 日に中止判断する。

年度末研修報告会：3/2 実施予定 **会場開催を中止し紙上開催で実施**

- ・ 3 月 2 日教育センターにて開催の案内文書を 1 月 29 日に発送。
- ・ 大阪府への発出の緊急事態宣言が 3 月 7 日まで延長となり、教育センターの施設利用停止延長を受けて 2 月 8 日に会場開催の中止を判断する。
- ・ 発表をレポート形式にして関係の先生方に配付する『紙上開催』として実施。

生徒たちにとっても我々にとってもとても、歯がゆく残念な 1 年だったと思います。来年度は終息し正常化されることを切に願います。